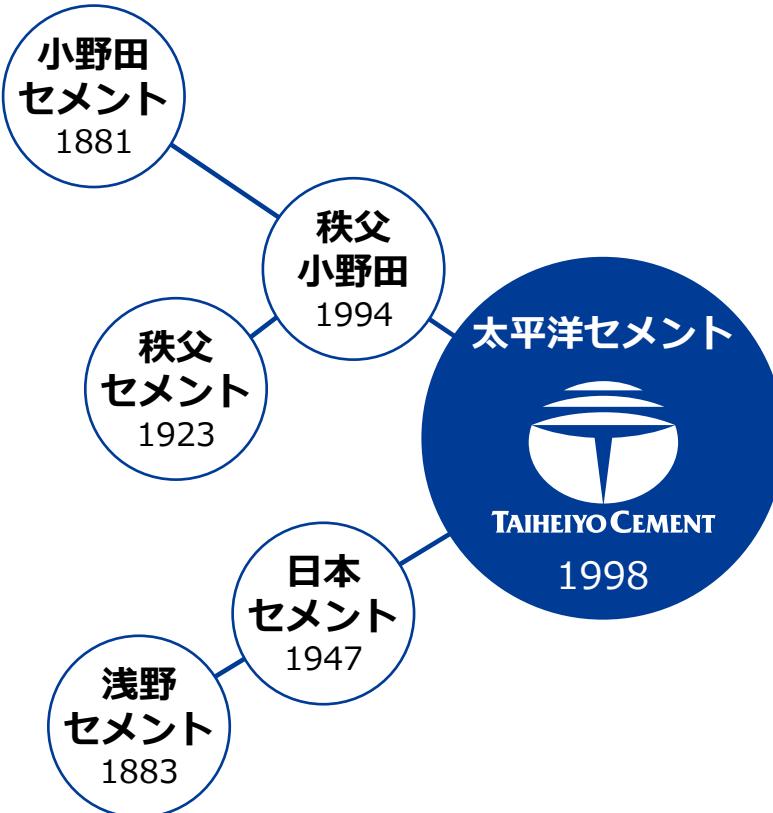




2025年度第3四半期 決算説明資料

2026年2月10日

太平洋セメント株式会社



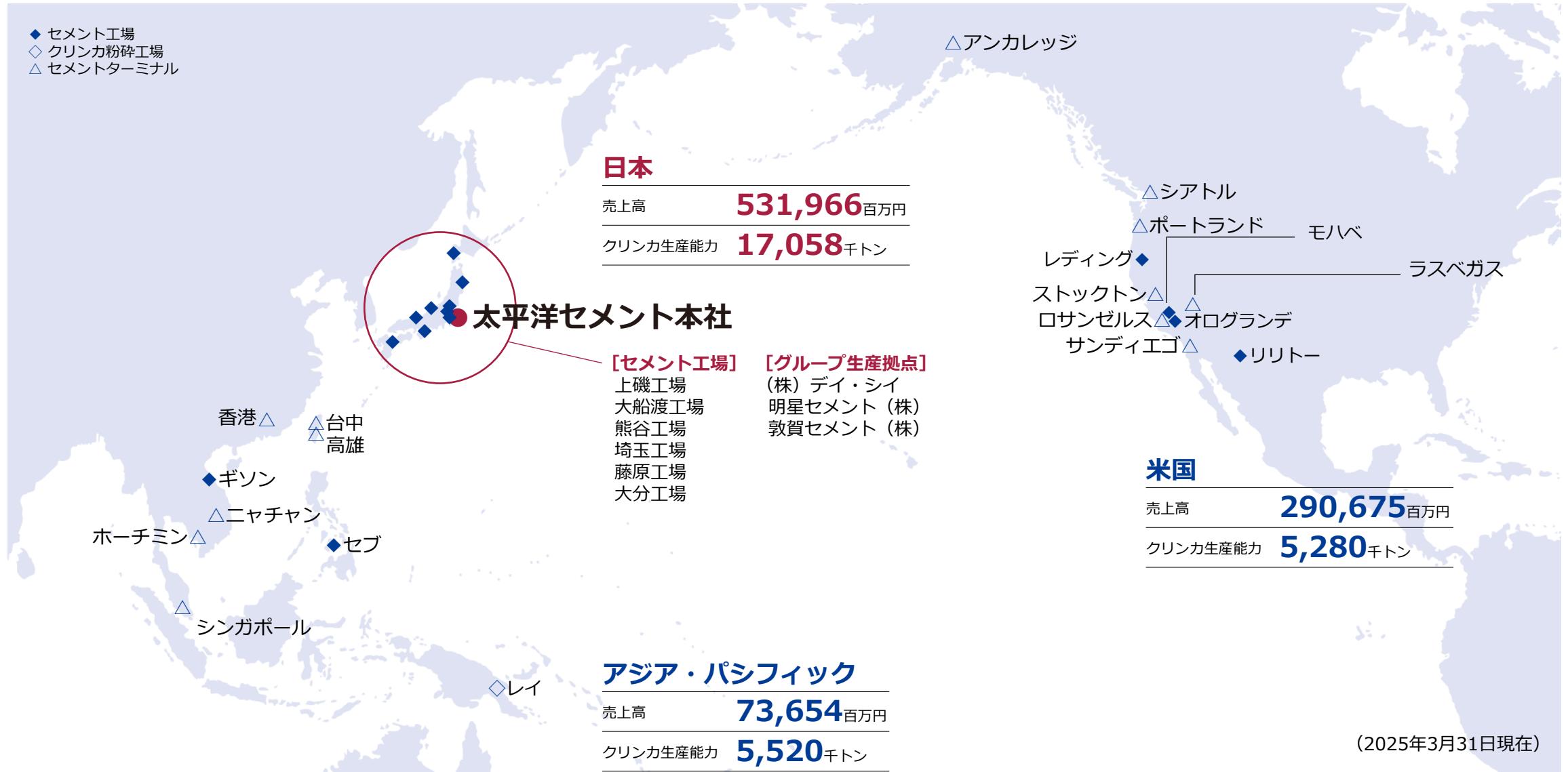
グループ経営理念

太平洋セメントグループは、
持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、
経済の発展のみならず、
環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。

設立	1881年5月3日
資本金	86,174百万円
本社所在地	〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデングートタワー
従業員数	連結：12,586名 単体：1,733名（出向含まず）
子会社	201社（うち連結子会社 129社、持分法適用非連結子会社 5社）
関連会社	105社（うち持分法適用関連会社 36社）

(2025年3月31日現在)

進出地域



目次

1. 連結決算ハイライト	P.5	4. 株主還元	P.23
2. 2025年度 第3四半期実績	P.8	Appendix (参考資料)	P.25
(1) セグメント情報	P.9		
(2) 連結損益計算書	P.15		
(3) 連結貸借対照表	P.16		
3. 2025年度業績予想	P.17		
(1) 連結損益計算書	P.19		
(2) セグメント情報	P.20		

1. 連結決算ハイライト

1. 連結決算ハイライト

《決算サマリ》

- 国内セメント値上げ効果・原価改善により営業利益増
- 海外子会社等で減収減益
- フィリピン子会社の減損損失244億円を計上

(単位：百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
売上高	681,873	671,264	▲10,609
営業利益	64,203	59,066	▲5,137
経常利益	65,209	60,233	▲4,976
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,396	17,774	▲34,622

1. 連結決算ハイライト

《主な指標》

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
売上高営業利益率 (%)	9.4	8.8	▲0.6
1株当たり四半期純利益 (円)	455.5	159.5	▲296.0

	2024年度末	2025年度 第3四半期末	増減
1株当たり純資産 (円)	5,758.9	5,719.5	▲39.4
自己資本比率 (%)	45.1	43.8	▲1.2
ネットDEレシオ (倍)	0.49	0.51	+0.02

《環境要因》

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
為替平均レート (円/\$)	151.5	148.1	▲3.4
国内輸入石炭等調達価格 (C&F \$/t)	150	130	▲20

2. 2025年度第3四半期実績

2. 2025年度第3四半期実績

(1) セグメント情報

(単位：百万円)

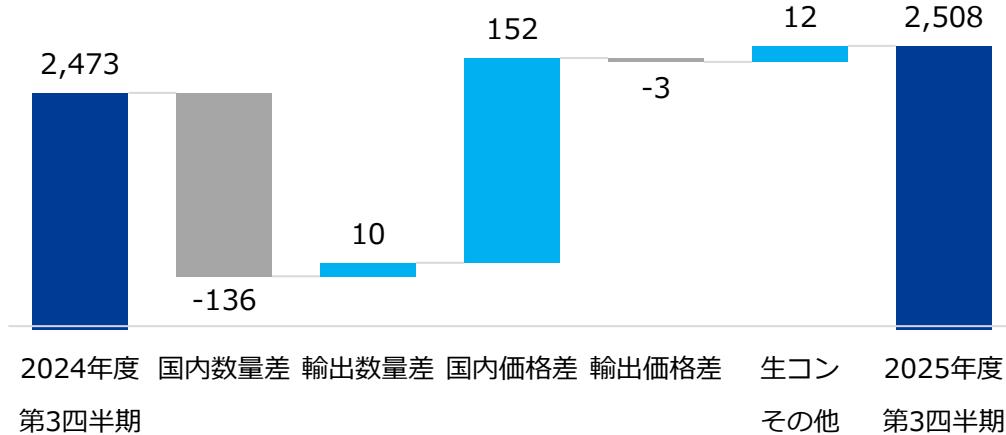
		売上高			営業利益		
		2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
セメント	国内	247,328	250,817	+3,489	13,350	22,086	+8,737
	海外子会社等	263,376	248,917	▲14,458	31,566	18,390	▲13,176
	計	510,704	499,734	▲10,970	44,916	40,477	▲4,439
資源		67,508	69,078	+1,569	8,106	8,314	+208
環境		60,942	61,107	+165	7,044	6,445	▲598
建材・建築土木		33,601	32,583	▲1,018	2,004	1,579	▲425
その他		56,113	56,770	+657	2,654	2,315	▲340
計		728,868	719,271	▲9,597	64,724	59,129	▲5,595
内部消去		▲46,995	▲48,007	▲1,013	▲521	▲63	+458
連結		681,873	671,264	▲10,609	64,203	59,066	▲5,137

2. 2025年度第3四半期実績

①セメント国内

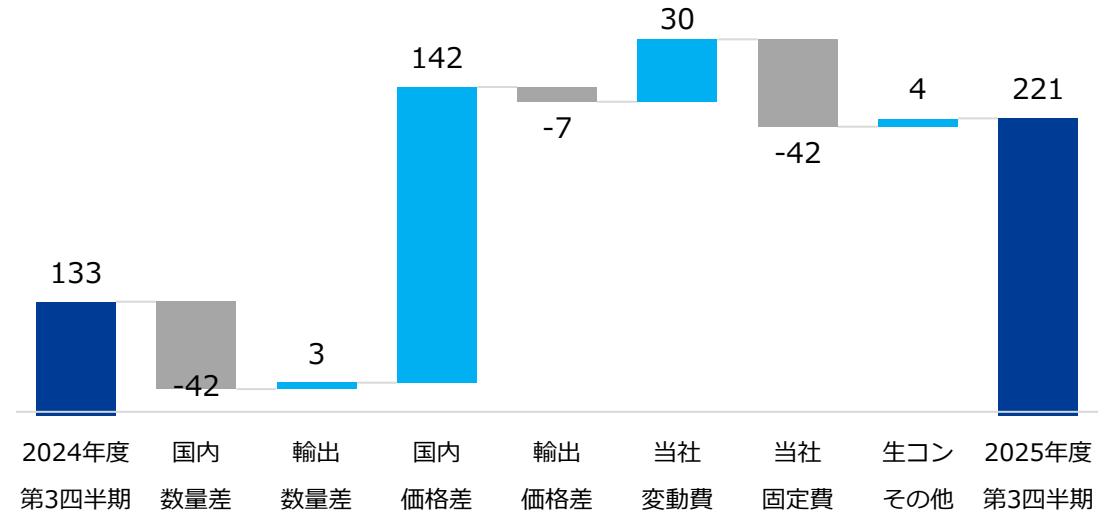
	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
販売数量 (千t)			
国内	9,516	8,602	▲913
輸出	2,397	2,567	+171
売上高 (百万円)	247,328	250,817	+3,489
営業利益 (百万円)	13,350	22,086	+8,737

売上高（億円）



- 生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売数量も減少
- 販売数量減の中、セメント・固化材の販売価格の値上げ、原価改善により、営業利益増

営業利益（億円）



2. 2025年度第3四半期実績

②海外子会社等

《米国》

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
セメント (千t)	4,693	4,509	▲184
生コン (千cy)	4,286	3,548	▲738
骨材 (千t)	8,773	9,377	+605
売上高 (億円) (百万\$)	2,278 (1,504)	2,118 (1,430)	▲160 (▲74)
営業利益 (億円) (百万\$)	328 (217)	211 (143)	▲117 (▲74)

《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
セメント (千t)	4,982	5,504	+522
売上高 (億円)	402	417	+14
営業利益 (億円)	▲2	▲16	▲14

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 ▲69 億円 営業利益 ▲5 億円

- 需要は悪天候及び金利高止まりに伴う民間部門の減速等の影響を受けた
- 需要減に伴いセメント・生コンの販売数量は減少、値上げやコスト削減に取り組んだが減益
- 骨材事業は買収効果により販売数量増

- (ベトナム) 堅調な国内需要を背景に前年並の利益を確保
- (フィリピン) 安価な輸入品の流入継続による売価下落等の要因により損益悪化、当第3四半期に減損損失計上。収益改善の取組継続

《参考》フィリピン連結子会社の減損損失計上の経緯

1. 固定資産の減損損失の計上について

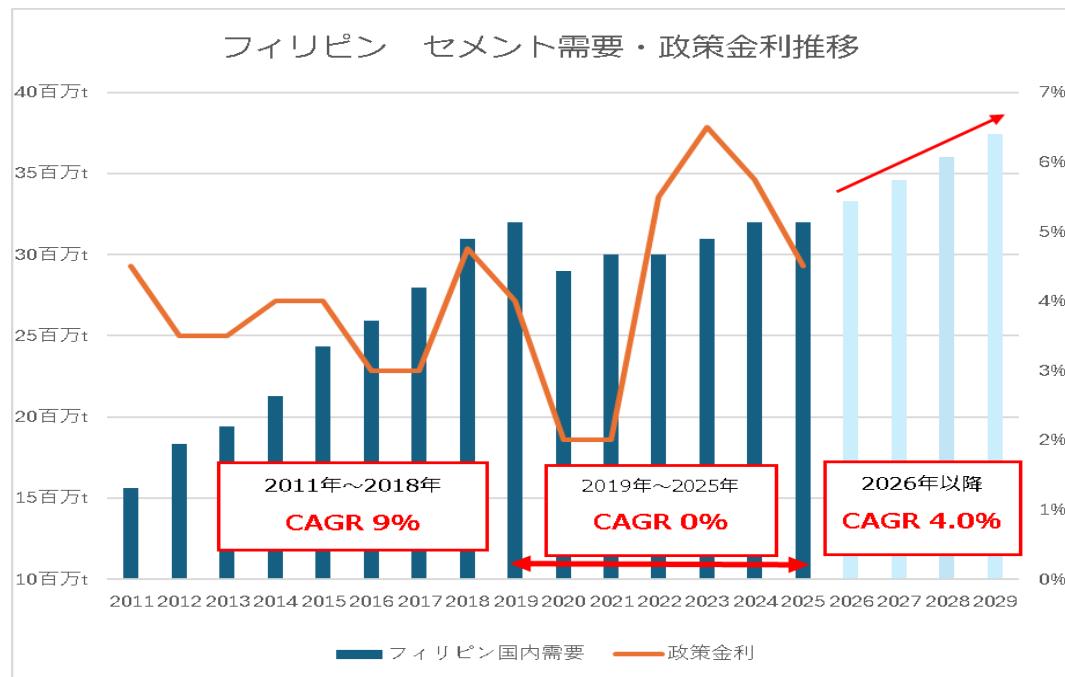
当社は、フィリピンにおけるセメント製造・販売を事業内容としているタイヘイヨウセメントフィリピンズ（以下「TCPI」）において生産ラインの更新投資を行い、生産を行ってまいりましたが、新型コロナウイルスとその後の高金利に伴う需要の停滞により、収益構造の改善には想定以上に時間を要する見込みとなっております。

このような状況を踏まえ、同社が所有する固定資産について将来の回収可能性を検討した結果、2026年3月期第3四半期の連結決算において減損損失244億円を特別損失として計上することいたしました。
その主なものは工場建物、製造用機械設備等であります。

【参考】2021年以降のTCPIにおける主な設備投資について

投資名称	金額	備考
生産ライン更新工事	300億円	
ルソン島セメントターミナル新設	100億円	2027年上期開業予定
合 計	400億円	

2. 経営環境の変化について（セメント需要推移）



フィリピン中央銀行「Monetary Policy Decisions」及びCeMAPによるフィリピン需要（2011年～2016年）、自社推計（2017年～2029年）を基に作成

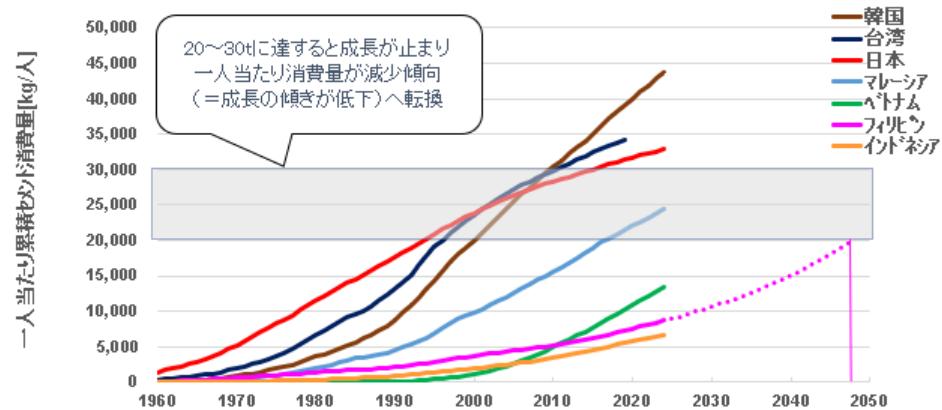
セメント需要は、2019年に3,200万トンまで達したものの新型コロナウイルス等の影響で大きく落ち込みました。その後もインフレ抑制を目的としたフィリピン中央銀行の高金利政策により民間設備投資が停滞し、2019年の需要水準までの回復には2025年まで時間を要しました。

一方、供給面ではベトナムの供給過剰と中国の不動産市況悪化により、ベトナム品のフィリピン向け流入が増え、供給量が拡大しました。

《参考》フィリピン連結子会社の今後の方針、取り組み

3. 今後の見通し

(1) フィリピンセメント市場の前提



The Global Cement Report、自社推計等を基に作成

セメント市場は、一人当たり消費量がいまだ低水準にとどまっており、経済成長に伴い中長期的には需要拡大が続く見通し。

ベトナム品を中心としたセメント輸入は2021年の650万トンから2024年には760万トンまで増加し、供給面での課題となっておりましたが、セーフガード導入以降、ベトナムからの輸入は減少傾向にあります。

(2) フィリピン経済見通し

2026年以降は実質GDP成長率5~6%の経済成長を想定。また、日本はフィリピンにとって最大のODA（政府開発援助）供与国であり、今後も「セブー・マクタン橋（第四橋）及び沿岸道路建設計画」等の複数のODA案件が見込まれております。

4. 収益改善に向けた取り組み

フィリピン事業の収益力回復のため、以下の通り各種施策に取り組むこととしております。

取組事項	主な内容
コスト削減の取組み	<ul style="list-style-type: none">原材料費・燃料費の抑制 石灰石自給拡大、SCMs※最大活用 電力契約切替、石炭調達の見直し減損に伴う減価償却費減 約12億円（年間）
販売数量拡大に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none">ODA案件の取り込みによる拡販特定プロジェクト需要の獲得 (災害復旧需要、空港アクセス道路工事等)ルソン島ターミナル事業開始による南部ルソンの需要取り込み
TCCグループの強みを生かした取組み	<ul style="list-style-type: none">設備管理支援による運転率向上技術営業による長期的な顧客関係構築廃棄物受け入れによるコスト削減

※セメンティシャスマテリアル…セメント製造時の混合材として、性能を改善する材料。高炉スラグやフライアッシュ、石灰石やポゾランなどがある。

TCPIは当社海外事業の重要な拠点であり、フィリピン事業の収益力回復は喫緊の課題であることから、上記取組みを通じて収益性・財務体質の改善に継続的に取り組んでまいります。

2. 2025年度第3四半期実績

③資源、環境事業、建材・建築土木、その他

(単位：百万円)

		2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減	主要な増減内容（純増減）
資源	売上高	67,508	69,078	+1,569	骨材及び鉱産品が販売数量減となった一方、固化不溶化材は販売数量増。各種コストアップ分の販売価格への転嫁が浸透
	営業利益	8,106	8,314	+208	
環境	売上高	60,942	61,107	+165	リニア建設発生土の埠頭中継業務や石炭灰処理が堅調に推移したものの、石炭の埠頭中継業務や汚泥処理は伸び悩んだ
	営業利益	7,044	6,445	▲598	
建材・ 建築土木	売上高	33,601	32,583	▲1,018	ALC（軽量気泡コンクリート）及び建築・土木材料の販売が低調に推移したことに加え、運賃や人件費等の各種コストアップの影響を受けた
	営業利益	2,004	1,579	▲425	
その他	売上高	56,113	56,770	+657	
	営業利益	2,654	2,315	▲340	

2. 2025年度第3四半期実績

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
売上高	681,873	671,264	▲10,609
営業利益	64,203	59,066	▲5,137
営業外損益	1,006	1,167	+161
経常利益	65,209	60,233	▲4,976
特別損益	5,507	▲26,381	▲31,887
税金等調整前四半期純利益	70,715	33,852	▲36,863
法人税等	17,008	14,737	▲2,271
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,311	1,342	+31
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,396	17,774	▲34,622

2. 2025年度第3四半期実績

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2025年 3月末	2025年 12月末	増減			2025年 3月末	2025年 12月末	増減
流動資産	現金及び預金	74,987	87,967	+12,980	負債	流動負債	388,354	445,370	+57,016
	受取手形、売掛金及び契約資産	180,544	207,353	+26,809		固定負債	359,217	341,192	▲18,026
	棚卸資産	127,846	129,766	+1,921		負債合計	747,571	786,561	+38,990
	その他	22,354	21,376	▲978	純資産	資本金	86,174	86,174	-
流動資産 計		405,731	446,463	+40,732		資本剰余金	50,288	49,396	▲892
固定資産	有形固定資産	738,702	719,271	▲19,431		利益剰余金	417,460	425,195	+7,735
	無形固定資産	47,015	42,540	▲4,475		自己株式	▲22,131	▲21,968	+163
	投資その他の資産	232,248	246,479	+14,231		株主資本合計	531,791	538,798	+7,007
	固定資産 計	1,017,965	1,008,290	▲9,675		その他の包括利益累計額	109,879	98,775	▲11,104
資産合計		1,423,695	1,454,752	+31,057		非支配株主持分	34,455	30,619	▲3,836
						純資産合計	676,124	668,191	▲7,933
						負債純資産合計	1,423,695	1,454,752	+31,057

	2024年 12月末	2025年 9月末	増減		2025年 3月末	2025年 12月末	増減
(為替) 期末レート (円/\$)	158.2	148.9	▲9.3	有利子負債 (百万円)	389,688	415,180	+25,492

3. 2025年度 業績予想

3. 2025年度 業績予想

《前提条件》

- 2025年度業績予想見直しの前提是以下の通り

	2024年度実績	2025年度予想	増減
セメント国内需要（万t）	3,266	3,030	▲236
国内輸入石炭等平均調達価格（C&F \$/t）	150	130	▲20
為替平均レート（円/\$）	151.7	150.0	▲1.7

(感応度 営業利益影響額：為替が1円円安で+0.3億円)

《業績予想サマリ》

- セメント国内需要を3,030万tに修正
- 海外子会社の予想を修正
- 減損損失計上を反映し、11月公表予想から下方修正

3. 2025年度 業績予想

(1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2024年度実績	2025年度予想	増減
売上高	8,963	9,060	+97
営業利益	777	700	▲77
営業外損益	▲24	▲10	+14
経常利益	754	690	▲64
特別損益	▲8	▲310	▲302
税金等調整前当期純利益	746	380	▲366
法人税等	158	195	+37
非支配株主に帰属する当期純利益	14	15	+1
親会社株主に帰属する当期純利益	574	170	▲404

3. 2025年度 業績予想

(2) セグメント情報

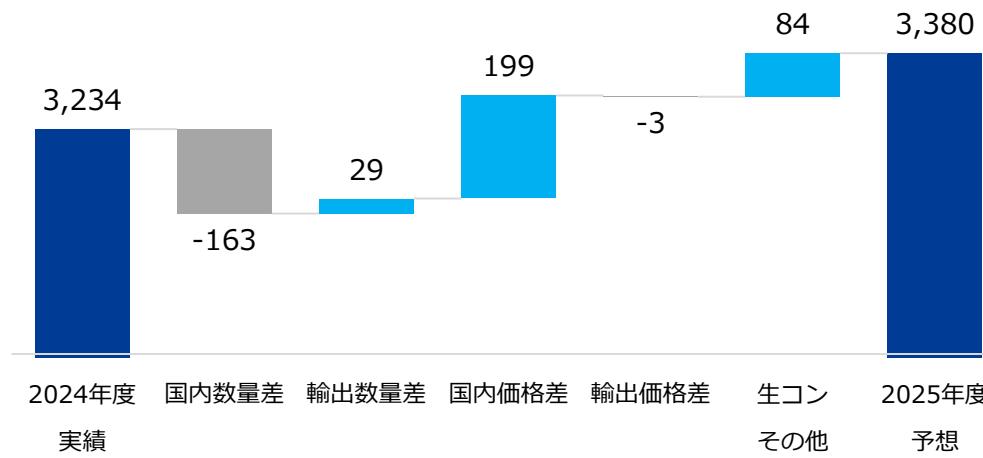
(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2024年度 実績	2025年度 予想	増減	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
セメント	国内	3,234	3,380	+146	161	265	+104
	海外子会社等	3,448	3,320	▲128	384	211	▲173
	計	6,682	6,700	+18	544	476	▲68
資源		882	920	+38	96	98	+2
環境		809	820	+11	90	86	▲4
建材・建築土木		443	430	▲13	24	16	▲8
その他		786	810	+24	39	33	▲6
計		9,602	9,680	+78	793	709	▲84
内部消去		▲639	▲620	+19	▲16	▲9	+7
連結		8,963	9,060	+97	777	700	▲77

3. 2025年度 業績予想

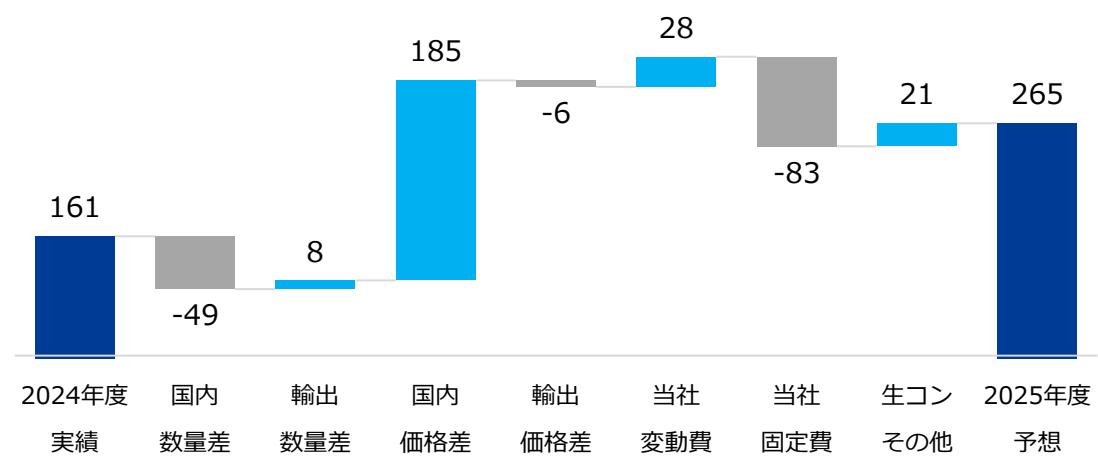
①セメント国内

	2024年度実績	2025年度予想	増減
販売数量 (千t)			
国内	12,329	11,200	▲1,129
輸出	3,025	3,500	+475
売上高 (億円)	3,234	3,380	+146
営業利益 (億円)	161	265	+104
売上高 (億円)			



- 国土強靭化対策、企業の国内投資回帰など需要を支える要因があるものの、生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売予想数量を引き下げ。
- セメント・固化材の販売価格の値上げ達成、原価改善により、対前年営業利益増。

営業利益 (億円)



3. 2025年度 業績予想

②海外子会社等

《米国》

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
セメント (千t)	6,123	5,888	▲235
生コン (千cy)	5,479	4,722	▲757
骨材 (千t)	11,512	12,246	+734
売上高 (億円) (百万\$)	2,976 (1,962)	2,825 (1,888)	▲151 (▲73)
営業利益 (億円) (百万\$)	410 (270)	266 (178)	▲143 (▲92)

《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
セメント (千t)	6,669	7,289	+620
売上高 (億円)	534	547	+13
営業利益 (億円)	▲12	▲41	▲29

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 ▲63 億円 営業利益 ▲4 億円

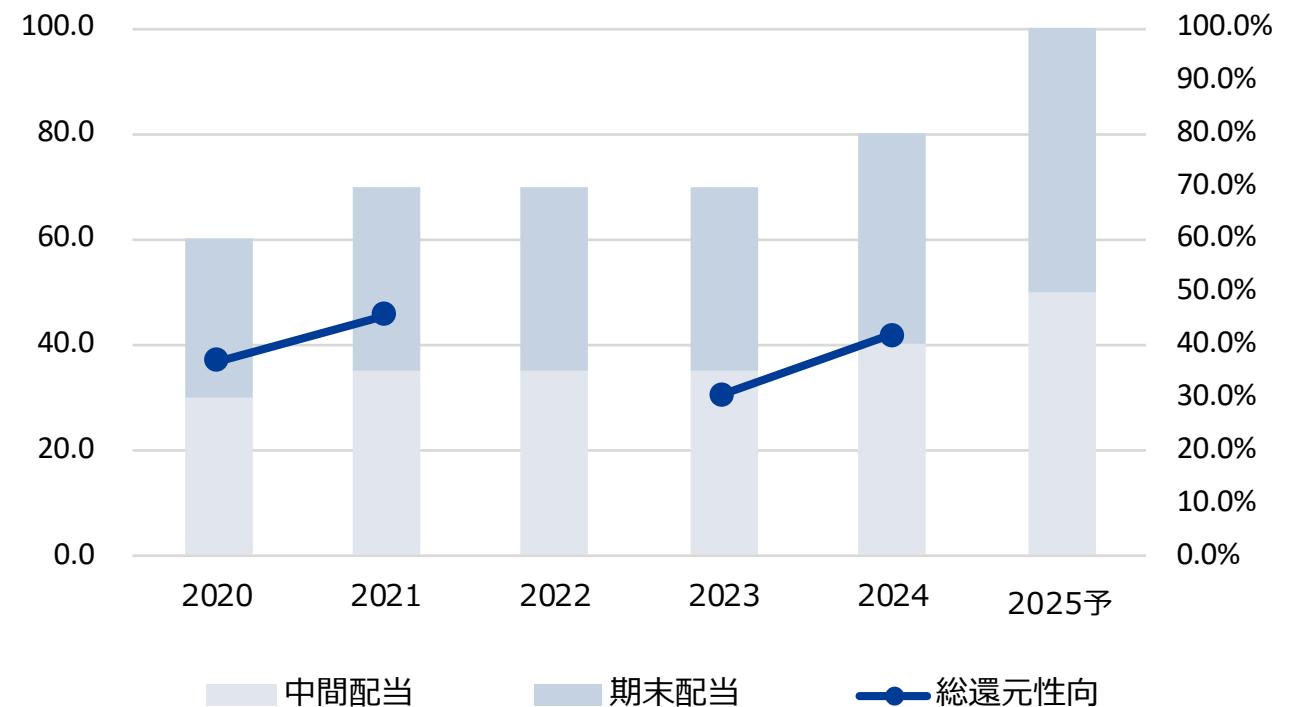
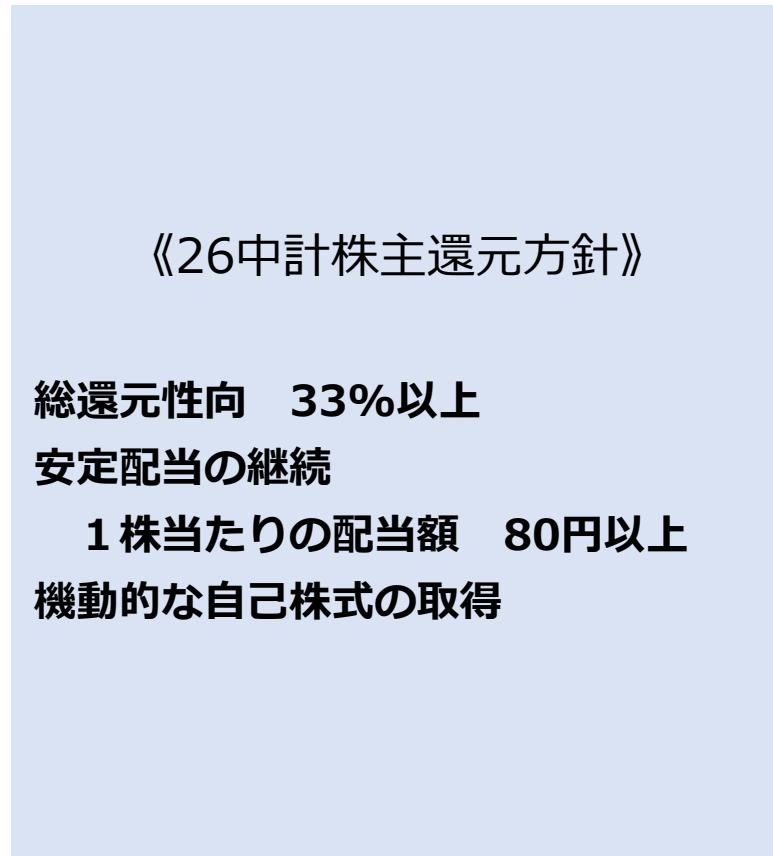
- 需要は悪天候及び金利高止まりに伴う民間部門の減速等の影響が継続
- 需要減に伴いセメント・生コンの販売数量は減少、値上げやコスト削減に取り組むが減益見込み
- 骨材事業は買収効果により販売数量増を見込む

- (ベトナム) 堅調な国内需要を背景に、前年並の利益を見込む
- (フィリピン) セーフガード発動により、安価な輸入品の流入は減少傾向にあるものの赤字継続。需給改善には今しばらく時間をする見込み。コスト削減の取り組みは継続

4. 株主還元

4. 株主還元

- 2025年度は、20円増の100円/株（中間配当50円/株含む）予定



Appendix (參考資料)

2025年度第3四半期実績 連結キャッシュ・フロー情報

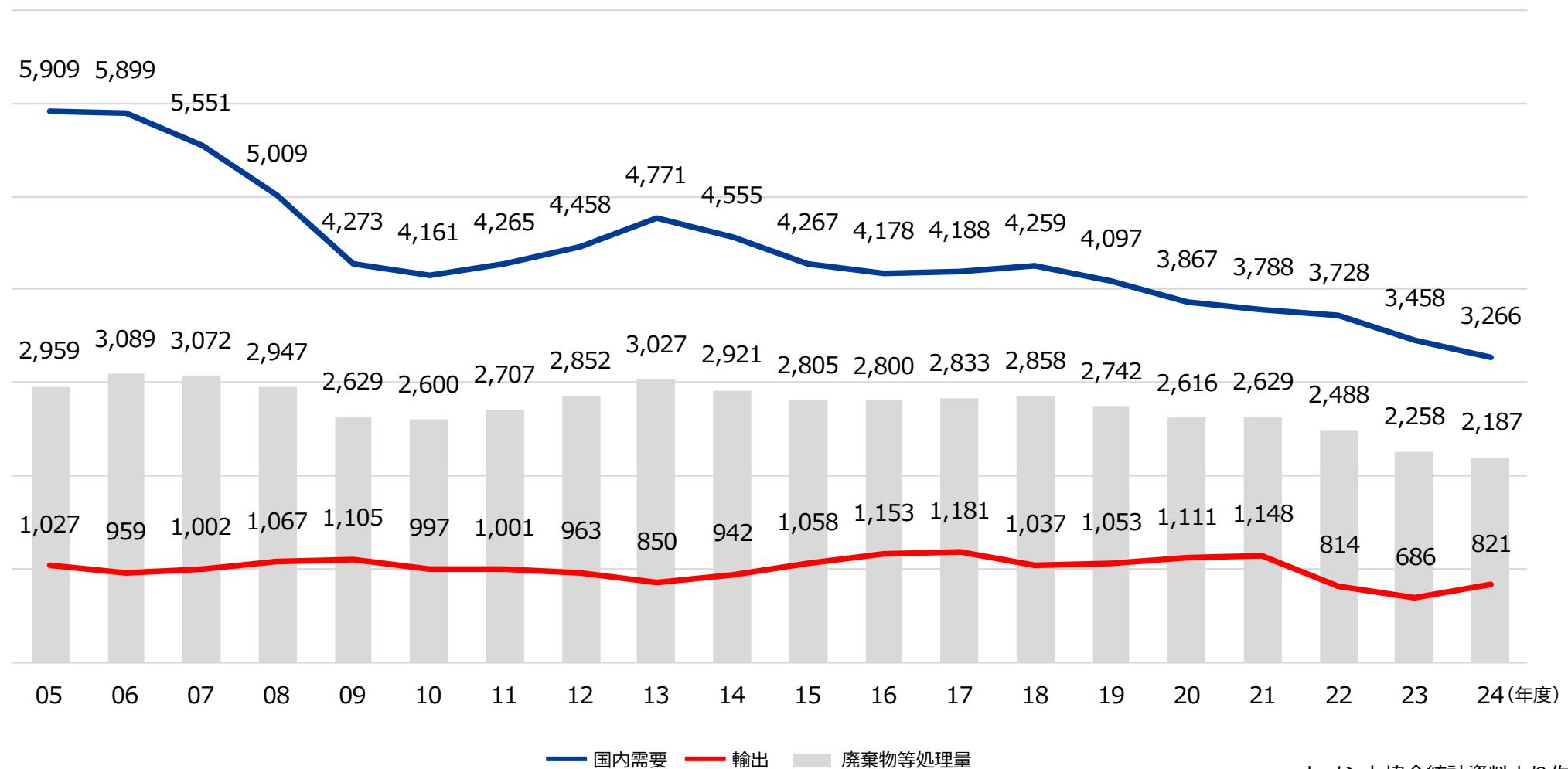
当資料は参考情報として作成したものであります。

(単位：百万円)

	2024年度 第3四半期	2025年度 第3四半期	増減
営業キャッシュ・フロー*	86,129	85,070	▲1,059
投資キャッシュ・フロー	▲64,384	▲72,346	▲7,962
フリー・キャッシュ・フロー	21,745	12,724	▲9,021
財務キャッシュ・フロー	▲11,282	3,180	+14,463
*うち、減価償却費・のれん償却費	46,320	51,273	+4,953

《参考》セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量

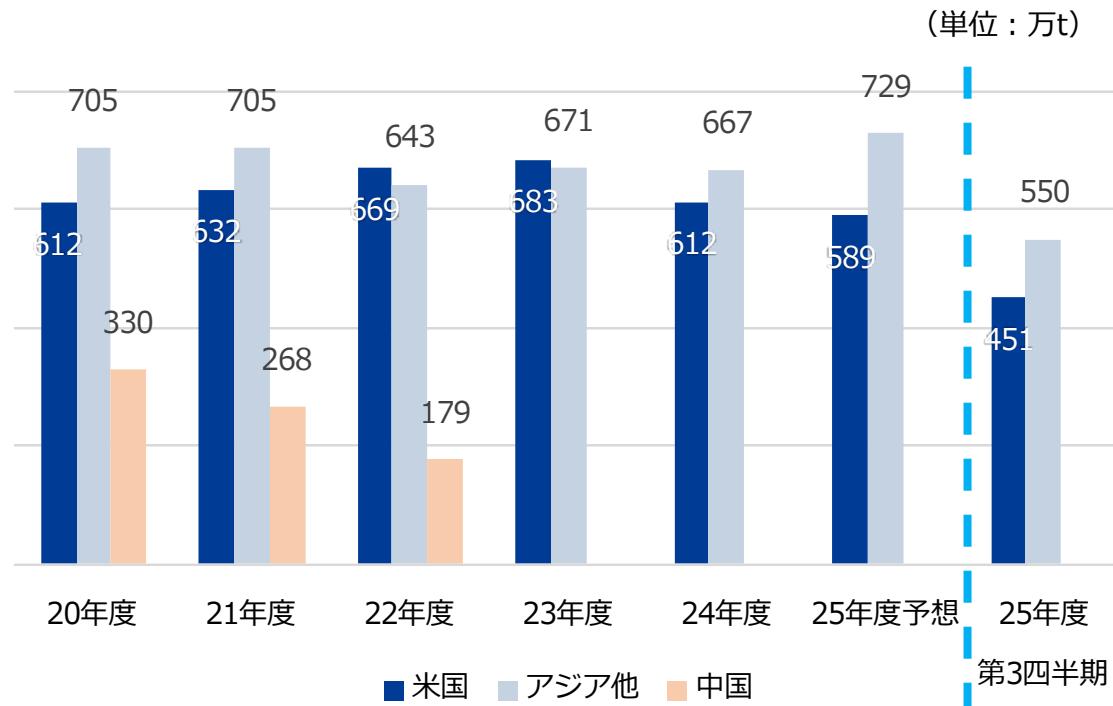
セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量（万t）



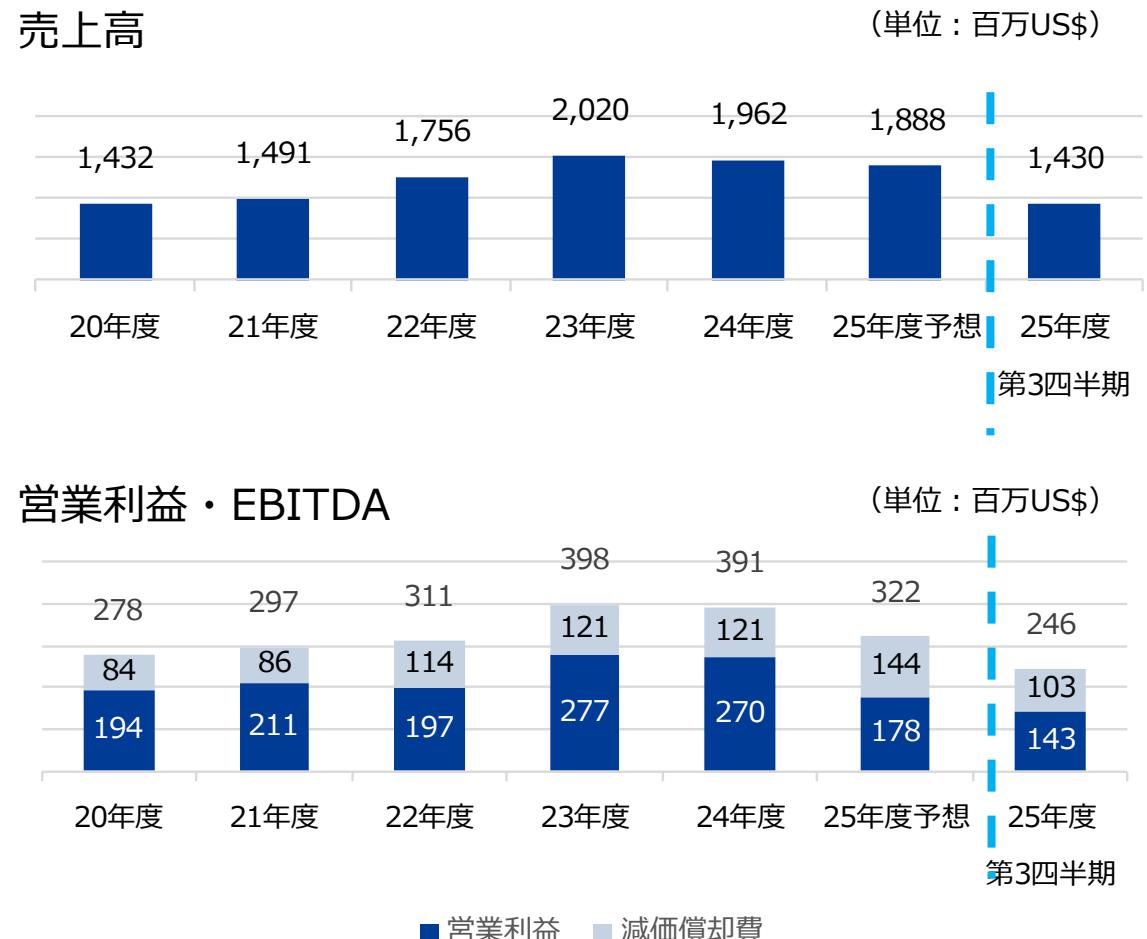
セメント協会統計資料より作成

推移データ

(1) 海外子会社セメント販売数量
(連結子会社単純合算)



(2) 米国事業



《参考》生コン事業用資産買収と大型設備投資による事業拡大

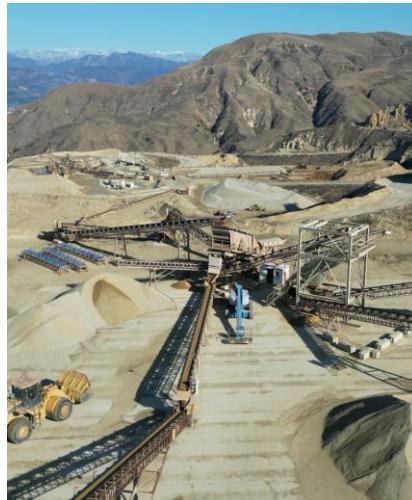
今回の投資案件は、「26中計」で掲げる米国事業の成長戦略に沿った取り組みであり、生コン事業のM&Aによる事業拡大・サプライチェーンの強化を目的としています。

【①生コン事業用資産買収の概要】

買収目的	・生コン事業の拡大 ・セメント安定供給先の確保 ・スラグ・フライアッシュ等セメンティシャスマテリアル（SCMs）の安定供給先確保
買収金額	712百万ドル
買収時期	2025年12月内 ⇒ 2026年上半期中 関係当局によるクリアランス等の前提条件が満たされることが要件
買収資産の内容	①北CAに所在する生コン工場28拠点、ターミナル2拠点 等 ②南CAに所在する生コン工場13拠点 等
買収効果（26年）	①生コン販売数量 24年実績 548万cyから、824万cyに増加見込み ②対象事業の24年度における売上高 524百万ドル

【②近年の主な買収および大型設備投資】

2024年	グラウムス採石場・ステート生コン ・貴重な資源である骨材ソースおよびセメントの安定供給先確保
2025年	生コンクリート事業用資産等買収（本件） ・西海岸全域で生コン事業を展開
2026年 (予定)	ストックトンターミナルサイロ増設 ・サプライチェーンの強化、混合セメント、SCMs等の需要拡大に対応



グラウムス採石場



ストックトン・ターミナル
増設工事中サイロ



Type I L(混合セメント)納入例
17,000cyのコンクリート構造物向けに使用
The California Science Center
内(ロサンゼルス)

2025年度 業績予想

《前提条件》

- 2025年度業績予想見直しの前提是以下の通り

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント国内需要 (万t)	3,050	3,030	▲20
国内輸入石炭等平均調達価格 (C&F \$/t)	130	130	-
為替平均レート (円/\$)	148.0	150.0	+2.0

(感応度 営業利益影響額：為替が1円円安で+0.3億円)

《業績予想見直しサマリ》

- セメント国内需要を3,030万 t に修正
- 海外子会社の予想を修正
- 減損損失計上を反映し、11月公表予想から下方修正

2025年度 業績予想

(1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
売上高	9,060	9,060	-
営業利益	700	700	-
営業外損益	▲20	▲10	+10
経常利益	680	690	+10
特別損益	▲70	▲310	▲240
税金等調整前当期純利益	610	380	▲230
法人税等	145	195	+50
非支配株主に帰属する当期純利益	15	15	-
親会社株主に帰属する当期純利益	450	170	▲280

2025年度 業績予想

(2) セグメント情報

(単位：億円)

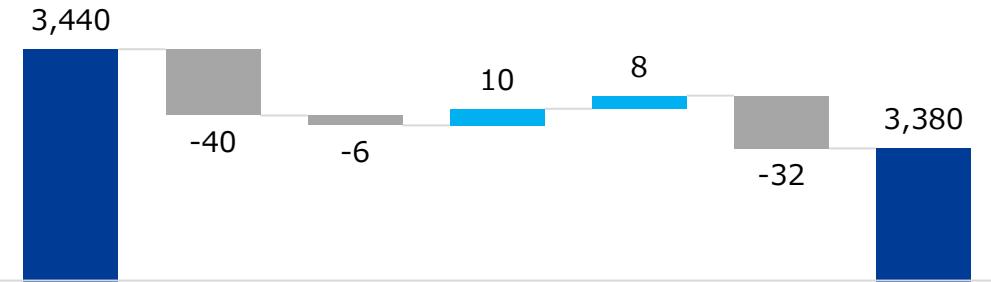
		売上高			営業利益		
		2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント	国内	3,440	3,380	▲60	260	265	+5
	海外子会社等	3,240	3,320	+80	214	211	▲3
	計	6,680	6,700	+20	474	476	+2
資源		930	920	▲10	99	98	▲1
環境		830	820	▲10	89	86	▲3
建材・建築土木		440	430	▲10	16	16	-
その他		820	810	▲10	31	33	+2
計		9,700	9,680	▲20	709	709	-
内部消去		▲640	▲620	+20	▲9	▲9	-
連結		9,060	9,060	-	700	700	-

2025年度 業績予想

①セメント国内

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
販売数量 (千t)			
国内	11,300	11,200	▲100
輸出	3,600	3,500	▲100
売上高 (億円)	3,440	3,380	▲60
営業利益 (億円)	260	265	+5

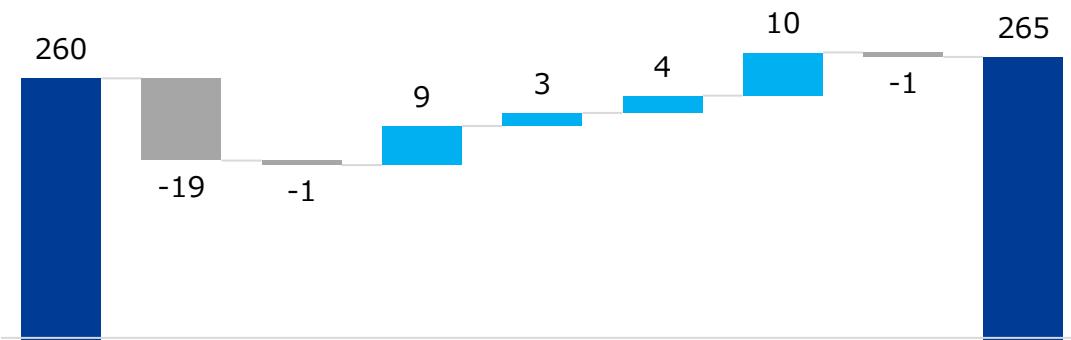
売上高 (億円)



2025年度 国内数量差 輸出数量差 国内価格差 輸出価格差 生コン その他 2025年度
前回予想 今回予想

- 國土強靱化対策、企業の国内投資回帰など需要を支える要因があるものの、生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売予想数量を引き下げ。

営業利益 (億円)



2025年度 国内 輸出 国内 輸出 当社 当社 生コン その他 2025年度
前回予想 数量差 数量差 価格差 価格差 变动費 固定費 その他 今回予想

2025年度 業績予想

②海外子会社等

《米国》

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント (千t)	5,922	5,888	▲34
生コン (千cy)	4,683	4,722	+38
骨材 (千t)	12,233	12,246	+13
売上高 (億円) (百万\$)	2,738 (1,856)	2,825 (1,888)	+86 (+32)
営業利益 (億円) (百万\$)	269 (182)	266 (178)	▲3 (▲4)

《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント (千t)	7,380	7,289	▲90
売上高 (億円)	551	547	▲4
営業利益 (億円)	▲40	▲41	▲1

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 +43 億円 営業利益 +3 億円

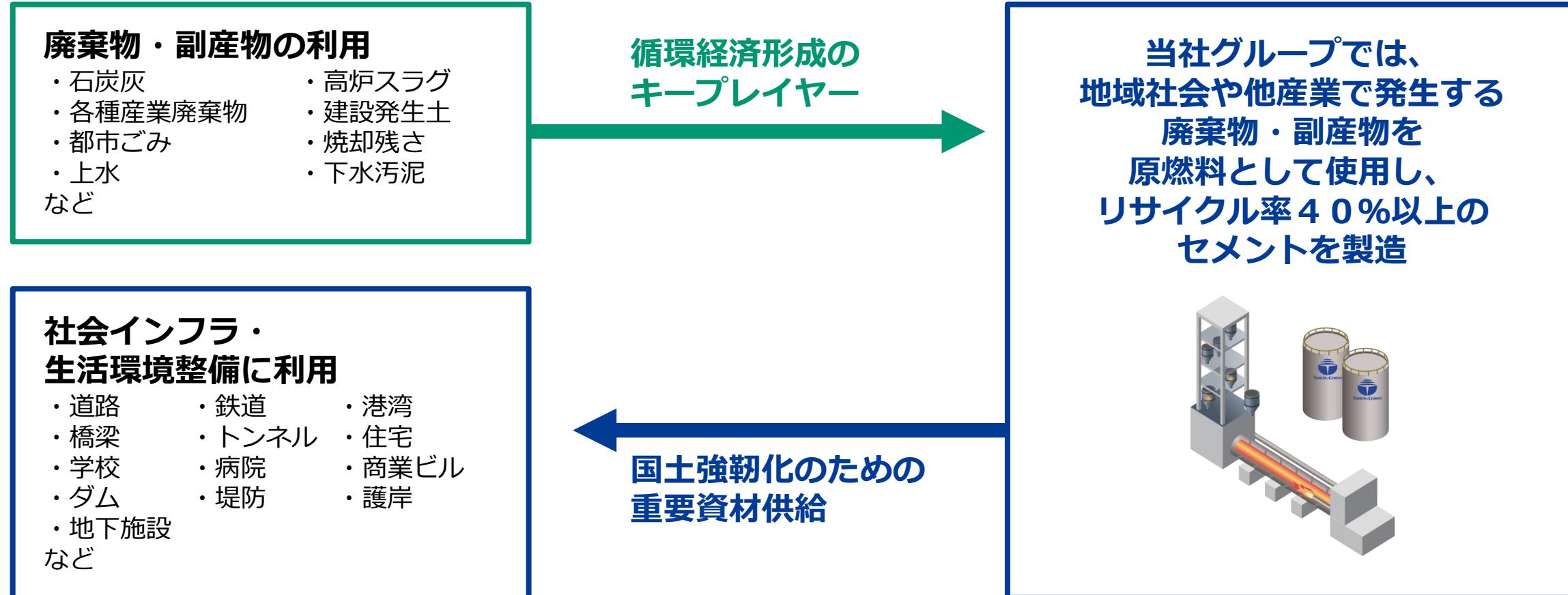
- 2026年以降緩やかな回復を見込むものの、本格的な需要回復は利下げの効果が発現する2027年以降を想定

- (フィリピン) 需給改善による販売数量増・値上げを見込んだものの、セーフガード発動に伴う本格的な需給回復は想定よりも時間を要しており、損益改善が遅れている

循環経済形成のキープレイヤー

当社グループは、カーボンニュートラルへの着実な移行を進めながら、
国土強靭化のための重要資材のサプライヤーとして、また、
循環経済形成のキープレイヤーとしての役割を果たしています。

現在、わが国のセメント産業の
廃棄物・副産物の使用量は、
国内循環利用量の約10%に相当します。



カーボンニュートラル戦略 ロードマップ

2050年サプライチェーン全体でのCN実現を目指した取組み

排出原単位20%以上
削減（2000年比）

Carbon
Neutral

2024

2026

2030

2050

Carbon Neutral 対策

革新技術開発

既存技術：
CO₂低減

既存技術：
CO₂吸収

CNモデル事業

激甚災害対策

革新的アプローチ

～世界をリードする技術開発～

漸進的アプローチ

～既存技術の深化＆新技術の横展開～

即効性アプローチ

～既存技術最大活用～

- 混合セメントへのシフト加速
- 混合材調達体制整備
- 化石燃料の代替促進

➤ 混合セメント新規格化（利用拡大）

➤ ガス焼成（メタン、水素等）

➤ 低CO₂セメント（CARBOFIX®）

➤ 新型粉碎助剤の開発

➤ CO₂固定（カーボキヤッチ®）

屋久島町のゼロカーボン アイランド構想への協力

保有技術の適用、新技術開発

例) 地盤改良材、世界最高強度コンクリート等

➤ CO₂回収（C2SPキルン®）

➤ CCU（メタネーション等）

➤ CCS（精製・出荷技術）

デイ・シイCNモデル工場化の推進

外部評価

**FTSE Blossom Japan
Sector Relative Index**



**Morningstar Japan ex-REIT
Gender Diversity Tilt Index
(GenDi J)**



**MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数**

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

**Dow Jones Sustainability Asia
Pacific Index**

**S&P/JPXカーボン・
エフィシェント指数**



CDP

[気候変動でB、水でBを取得]
[サプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定]



JCR
[2024年にA+を取得]



R&I
[2024年にAを取得]



プラチナくるみん認定
[2023年8月に取得]



健康経営優良法人認定制度
[2023年から連続して取得]



人的資本経営品質2023
[2024年2月シルバーに選定]



DBJ環境格付
[9回連続で最高ランク]



トピックス

- 2025年11月13日 「エコプロ2025」に出展
- 2025年11月13日 太平洋セメント×うんこドリル『身近なそざい セメント編』を制作
- 2025年11月27日 上白石萌音さんを起用し、新たなプロモーションを開始
- 2025年12月8日 「屋久島町ゼロカーボンアイランド宣言協働事業に関する包括連携協定」締結について
- 2025年12月8日 屋久島町で「ライフセンターヤクデン EV急速充電ステーション」竣工式を開催
- 2025年12月25日 (開示事項の変更) 米Vulcan社の生コンクリート事業用資産等買収について
- 2026年1月27日 「組織改定」に関するお知らせ
- 2026年1月27日 2026年4月から定年年齢を65歳に延長
-
-
-
-

本資料に記載されている将来の見通しに関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断したものであり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の予想数値を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。



TAIHEIYO CEMENT